

第1回 保険WG 議事録

【開催概要】

日時：2026年4月21日(火)

場所：建築家会館3階大会議室、Web（オンライン開催）

出席者：輿、荒木、高志、八木、上垣内、辺見、田中、喜多、建築家会館（花原、石井）、損保ジャパン（高橋、森田）
（敬称略順不同）

欠席者：板橋、大山、藤沼、亀嶋、石川、野々川（敬称略順不同）

資料 第1回保険WG資料（メイン資料）

【別紙①】3 団体賠償責任保険制度比較

【別紙②】争訟対応費用保険 2025 年度の取組振り返り

【別紙③】「ケンバイ」年間アクションシート（26 年度版）

【別紙④】リスク管理アンケート結果・分析

ケンバイ 2026 年度募集結果報告&WG の検討課題

【議事録】

1. JIA ケンバイの更改状況について

（1）保険料

- ・ 全体の保険料は、加入件数の減少があったものの、主に大手中堅事務所の設計監理の増加により、前年比でプラス 400 万円増加。

（2）加入件数・特約付帯率

- ・ 全体の加入件数は前年比で 27 件減少（昨年は 9 件減少）。
- ・ 新規加入は 7 件。
- ・ 構造と建築基準法オプションは増加傾向にあったが、加入件数は前年比で減少。
- ・ 工事監理オプションの加入者が 19 件減少。4 月 1 日に更新されなかった（解約）加入者 29 件の内、14 事務所が工事監理オプションに加入していたことが要因の 1 つ。
- ・ サイバーリスクオプションは 15 件増加し、全体の付帯率は 15.3%。昨今のランサムウェア等の被害報道によりサイバーニーズの高まりが伺える。

（3）支部別加入件数

- ・ 支部別では、減少した支部が 6 支部、現状維持が 1 支部、増加した支部が 3 支部。全体的に減少傾向。
- ・ 事務所閉鎖、高齢、団体退会などが 5 件程度。他制度への移行が 6 件程度発生。

（4）リザルト

- ・ 2025 年度の総支払い件数は 5 件と少ない。
- ・ 過去 10 年で見ると、保険制度は均衡が取れている状態。
- ・ 5 年間の通算損害率は約 23%と良好に推移。
- ・ 保険金額 1 億円以上で加入している方が全体の約 40%。
- ・ 3 億円以上の高額で加入している方は 8.5%。

- ・ 年間保険料が 2.5 億円程度であるため、1 件で 3 億円の支払いが発生すると年度で赤字になる可能性があり、高額支払いに備えることが重要。

2. ケンバイの各団体の内容比較

損保ジャパンより、以下の各団体の制度改定について説明を行った。

次回の WG では、今回の改定で他団体との保険料はどうか、

オプション充実で安くなるケースもあるのか、次回まで損保ジャパンより保険料の比較データを作成する。

また、事故割増の適用対象特約についても比較をすることとなった。

(1) .26 年度 JIA ケンバイ改定内容

損害拡大防止オプションの新設

(2) .日本建築士会連合会（けんばい）

①法令基準未達・構造未達・工事監理の保険料割引

・特約の料率の見直し改定を実施。

②工事監理オプションの対象法人の拡大

・施工兼業の事務所を、補償対象に

③無事故割引の拡大

・10 年無事故で-5%割引適用であったが、工事監理含む基本補償では、5 年無事故で-5%、10 年で 10%、15 年で-15%の割引改定

(3) .日本建築士事務所協会連合会（建賠）

①.損害拡大防止費用オプションの特約保険料の割引

②.事故割り増し水準の改定

3. 本年度 WG の検討課題

（前年度 WG や保険審議会、各支部の勉強会から発生した検討課題）

（1）争訟対応費用オプションの導入

損保ジャパンより、25 年度の争訟対応費用保険の検討経緯を説明し、26 年度の WG で再度検討を再開することを報告した。

地方の場合、建築に詳しい弁護士がいないのではないか、と懸念事項が挙げられた。

まずは、LAC（リーガルアクセスセンター）にて、建築分野に明るい弁護士を紹介できるか確認することとなった。

その後、保険会社で保険料の試算、システム対応の整理を進めていく。

（2）ケンバイ制度の更なる理解・浸透（加入者拡大）に向けた取組【別紙③ 参照】

① 勉強会の継続開催（支部開催と関東甲信越支部の地域会開催のスケジュール化）

昨年度は、大阪、九州で開催した。

近畿支部は継続的に開催することとなり、関東甲信越支部では地域会等で定期的に開催できないか議論された。

北陸支部は、WEB 開催の方向で検討することになった。

中国支部は、実施方法含めてご検討いただくこととなった。

② JIA リスクマネジメントアンケート結果分析をふまえたケンバイ制度の改定検討

建築家会館様より、JIA リスクマネジメントアンケート結果について報告した。

アンケート回答された事務所の懸念事項は、法改正、工事の複雑化、ハラスメントやクライアントな無理な要求、サイバーリスク対策等が挙げられた。

制度への要望として、保険料（特に小規模事業者では保険料コストが高い）や、制度、補償内容のわかりにくさに関する回答があった。

上記の回答を踏まえて今後は主に「設計・監理料 6,000 万円以下の保険料テーブルの見直し」、「保険のわかりやすさ（例えばオプションを 1 つにまとめてしまう案も提示された）」を検討する。

また、他団体との比較も踏まえつつ JIA のケンバイは「専門性」を追求し、リスクを伴うチャレンジングな建築を支えることができる制度を目指すことも協議された。

若手の建築士の囲い込み。

4.次回開催日程

5/15(金)16:00~18:00

6/16(火)16:00~18:00

7/24(金)16:00~18:00

以上